

都留の野ぼとけ（六）

觀世音菩薩 鈴木茂治



滝下の不動さまのよう、
一つだけ分かりにくい観音
さまがあります。それが写
眞の、田野倉のお経塚(きょうづか)（大
原橋の南の国道脇）にある
観音さまです。これは梵字
ではなくて、ちゃんと漢字
で「常念（中心に長く三字
に見えるが実は二字）観世

市内には今のこと三十三ヶ所の音を除いて十四体の観音さまが残されています。そのうち、立像碑は六体、文字碑は八基あります。

聖観世音菩薩

市内にある観世音立像はいずれも聖観音さまです。頭に阿弥陀さまの化身という宝冠をかぶり、手には蓮の花を持って立っています。

前回は「三十三観音」を紹介しましたので、今回は、路傍や門前などに独り立ちしていらっしゃる観音さまをお知らせしましょう。観音さまの本当のお名前は「觀世音菩薩」で、道行く人の願いに応じて、救いの手をさしのべてくださる慈悲深い野ほとけさまです。

写眞の普門寺の前の聖觀音
さまは、市内では最古・最大
のものです。刻字は所々欠け
ていますが、「諸願成就・觀
世音菩薩・元禄十二(一六九
九)歳次「卯」九月吉祥日」
と読めます。立像の高さは一
センチメートルもあります。
市内に残る五本の観音像の中

市内の残り五体の観音さまの所
在地は、宝の大幡岩崎の路傍、下
谷羽根子入口に二体、小野真福寺
の庭さき、東桂の大野の路傍(へ
の観音さまは舟形光背浮彫)など
です。

常念觀世音菩薩

「常念観世音」とは「絶え間なく心の中に觀音さまを思い続けましょう」という教えだそうです。

この觀音さまが有名なのは、この字を書かれた方が「白隱禪師」(はくいんぜんじ)という江戸時代中期の偉いお坊さんだからです。

白隱さんは、日本全国を廻り歩いて、この常念碑に見られるような力強い筆勢の書画を、各地に残しています。小形山の禾生第一小学校上の四つ辻にある「三界万靈寺」の大きな字も、白隱さんの筆にな

常念観音さまの碑裏には「安永五（一七七六）丙午年霜月（十一月）上旬、白隱禪師正筆」と刻まれています。

市内の文字観音塔はこのほか、大幡広教寺前・同岩崎路傍・与縄天正寺前・下谷羽根子入口・上谷普門寺前・夏狩耕雲院前などに残されています。



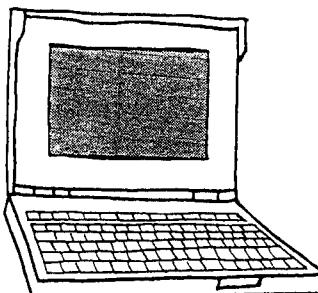
田野倉・経塚・常念觀世音菩薩

都留文科大学公開講座

今年の都留文科大学公開講座は、「異文化を理解するために」と題して、[コンピューター入門]の二講座を開講します。市民の皆さんのお参加をお待ちしています。

しで、おコンピューターに興味をもつてもらい、理解してもらうために、最新のマルチメディア機器を利用して、パソコンの基礎知識を習得してもらいます。

開講時間	午後7時～9時30分
講師	都留文科大学教員・情報セシヨンター職員
会場	都留文科大学2号館四階コンピューター室
受講料	2000円
受講資格	高校生以上のパソコン初心者
申込期間	9月4日～20日
開講時間	午後1時30分～4時30分
講師	都留文科大学 比較文化学科専任教員
会場	都留文科大学コミュニケーションセンター ショーンホールB一階談話室
受講料	無料
申込期間	9月1日～25日
定員	30人
申込	次第締め切ります。
☆公開講座の申込・問合先	都留文科大学総務課入試広報係 ☎ (43) 4341 (内線209) ※なお、前記二講座の他に「コンピュータ講座（中級）」を十一月に開講する予定です。



受講人員 3人
定員になり次第締め切ります。
申込期間 9月1日～25日